

## 美原区 区域まちづくり事業 効果検証シート

事業名称			実施主体			
みはら音楽フェスティバル			みはら音楽フェスティバル実行委員会			
事業目的	事業効果	活動指標	H29	H30	R1	
美原区域の住民・団体の協働による事業を通じて、地域コミュニティの活性化と自主的な魅力あるまちづくり意識の高揚を図る。音楽演奏、催しを通じて、音楽活動の活性化を図るとともに、コミュニティと憩いの場として、文化的な市民生活を伸長する。	区域住民自らが企画・運営することにより、区域の一層の親睦、連帯、交流を深め、明るく住みよい、活気と愛着のあるまちづくりを推進するとともに、住民が主体的に行うまちづくりのための人材育成ができる。また、音楽を通じて、文化的に豊かな住民生活を推進するとともに、区域住民が一体となる機会づくりを進めることができる。	来場者数(人)	260	305	525	
		来場者アンケートによる満足度の測定および参加者からの意見集約(「大変良かった」「良かった」の割合)(%)	98	99	99	
①妥当性	②協働の視点	③インパクト	④効率性			
○ 音楽・文化活動を通じて、区民の相互交流と心豊かな市民生活を伸長することは、区民の連帯感の醸成を促進させることができ、区民との協働事業として妥当である。	△ 当日は実行委員が壇上での司会進行、整理券の配布や来場者の整理・誘導に従事しているが、出演者との調整や広報活動等当日に至るまでの準備・調整は区が主体となっている。	◎ 和太鼓とマリンバのアンサンブルグループ「GONNA(ガナ)」が、躍動感溢れる迫力の舞台演出とともに多種多様なジャンルの曲目を披露した。出演者がホール内を縦横無尽に駆け回り観客を盛り上げ、和太鼓演奏を来場者に体験してもらう等、一体感のある公演となった。	○	各自治会に対してのチラシの回覧依頼や美原区内の各施設へのポスター掲示依頼、イベント情報サイトへの掲載等により、効率的に事業をPRすることができた。		
⑤自立発展性	総合評価					
— 本事業は、行政と区民の協働事業であり、区民の自主的な活動が求められるものについては、積極的にその促進を図っている。	○	実施したアンケートでは評価の高い回答が約99%となっており、高い満足度を得ることができた。また、今回当事業が始まって初の「満席」を記録した。				
今後の方向性(課題、改善提案等)						
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px; display: inline-block;">                     拡充 継続 見直し 廃止                 </div>	以前はプロの音楽家と実行委員がセッションを行うなど、事業目的に沿った協働性の高いコンサートを実施してきた。しかし、近年音楽家の実行委員が集まらず、集客の問題もあり、平成28年度以降はプロの音楽家だけのコンサートとなっており、本市における他の文化振興事業との差別化が図れていない状況である。そこで次年度は、音楽家の実行委員が集まらない現状を鑑み、実行委員会を解散し、区役所と文化振興事業のノウハウを有する堺市文化振興財団との「共催事業」として、実施主体を改め、より効率的な運営をめざす方針である。ただし、当事業の本来の事業目的の達成が困難であることから、引き続き音楽フェスティバルのあり方について、検討する必要がある。					